

わいわい 通信

新政権誕生・首相交代、口蹄疫蔓延、W杯でのJAPAN躍進など、心配事や関心事が、次から次とわき出てきます。

当法人でも、6月の新・事務所OPEN、GHわいわいの体制変更、7月のさん・れいく閉所と新ホーム(さんさんハウス)OPENと、生々流転、立ち止まってはられません。

暮らしの充実、安心・納得のサービス実施に努めてまいります。

お品書き

- グループホーム
- あったかほーむ
- 余暇利用
- 環境保全

あんしん なっとく じゅうじつ の生活



6月5日 みんなおいでやコンサート2010

NPOの活動報告

- 12月12日 POT(ホーム夜間支援)会議(リストアがむしゅら)
 - 12月20日 わいわい運営推進会議(偶数月開催)
 - 12月20日 ホーム・事業所合同運営会議・第3回理事会
 - 12月23日 お餅つき
 - 1月9日 余暇ワイワイ(初詣・毎月第二土or日開催)
 - 1月16日 湖南省市人権・同和教育推進協議会視察(お伊勢)
 - 2月13日 わたのみ会(日中活動の支援)
 - 2月21日 「働きながら資格をとる」合同面接会
 - 2月26日 全国宅老所GH研究交流フォーラム(おきなわ大会)参加(3月1日まで)
 - 3月14日 共生舎なんてん10周年(石部文化ホール)
 - 3月20日 第4回理事会
 - 4月17日 映像プロジェクト打ち合わせ(秋桜舎)
 - 4月24日 ホーム・事業所合同運営会議
 - 5月15日 お餅つき(コミュニティーセンター)
 - 5月19日 第1回理事会
 - 5月23日 総会(じゅらくの里福祉パーク)
 - 6月5日 2010みんなおいでやコンサート(雨山研修館)
 - 6月20日 イメージキャラクター公募検討会議(新事務所)
 - 7月9日 第2回理事会(11日まで。北海道伊達市視察)
- 月1回 ホームホールド会議、あったか企画会議、わいわい運営会議



★7月18日・結婚式に駆けつけました

わいわい日中ボランティア。
募集中 時間：おまかせ。
 月1回でもかまいません。
 お話相手、散歩・買い物
 などなど。



お問い合わせ NPO法人事務局(秋桜舎内) TEL 0748-77-6780 FAX 0748-77-6781

伊達紀行

伊達は、名前の通り東北伊達藩が開拓した所である。北海道にしては穏やかな所で「北の湘南」と言われてるそうである。（しかし今年2月私が行った時には大変な大雪であった）

その伊達市に「伊達の共に生きるまちづくりを学ぼう会」ツアーとして研修に行ってきた。研修の主たる目的は、市内に分散した60箇所及びグループホーム・ケアホームと160人近い一般就労の見学であった。

同じ伊達市にある道立太陽の園は定員400名の知的障害者施設であった。大規模施設の矛盾に気づいた施設のリーダー達が「施設から地域へ！」と運動を始めたのが昭和42年で、その歴史は45年近くに及ぶという。

グループホーム・ケアホームの見学では「命を守る・尊厳を守る・暮らしを守る」の徹底した取組に学んだ。日常性と専門性を併せたさりげない実践、いたるところに飾られた花や絵画。力を込めての日常支援であるが、比べればまだまだ不十分な私たちの支援が反省させられた。

就労現場は2箇所のみであったが、障害のあるスタッフの真剣さがとても印象的であった。障害の軽い人だけでなく、中重度の障害のある人も含めての挑戦と目の輝きが忘れられない。「本人の努力・支援者の努力・事業者の努力」、互いに他人のせいにはしない積極的な姿勢を強く感じた。

正直、研修前には「同じ地域展開でも伊達は施設主導、わが街は市民主導」というおもしろいがあった。しかし参った。地域展開のスタイルなんかクソくらえで、働く・暮らすことの支援の質の高さには恐れ入った。

従たる目的の舟釣りや観光にも大いに満足した。イルカウォッチングをしながらのカレイ釣りや、山ほどのジンギスカンを食べた洞爺湖観光も思い出深いものになるだろう。

「ふみだす」の大垣さん、畠山さん、高木さん、スタッフのみなさん、ありがとうー！

2010/07/17（み）



インフォメーション <本部事務局・サポートセンターの拠点OPEN>

これまで、(株)なんてん共働サービス秋桜舎の2階をお借りしていましたが、6月1日に石部南八あるマンションの一室に拠点を移しました。グループホームや事業所により近くなり、また、夜間ホーム巡回支援（POT）のスタッフ詰め所も併設しましたので、より一層のサポート充実に結びと考えています。

新事務所の真上には、7月17日に「さんさんハウス」がOPEN。社会福祉法人大木会さんの12年間運営してきた「さん・れいく」を発展的解消することとなりました。

法人設立10周年によせて

私どもの法人は、2001年9月に認証を受け、認知症高齢者グループホーム「わいわい」の整備・運営を主体としてNPO法人格を取得しました。それ以来、知的障害者グループホームの運営、障碍児の余暇支援、環境保全、幼児・児童・学童の預かり保育と、活動の輪を広げてきました。

地域の皆様から温かい励ましや、ご協力をいただき来年度10周年を迎えることになりました。

今回は10周年を迎えるにあたって、いくつかのプロジェクトをスタートさせていますのでこの紙面をお借りして紹介させていただきます。

1) 映像プロジェクト

10周年を迎えるにあたって、NPOの1年を映像で残そうとする取り組みです。

静止画、報告書での記録は多く保有していますが、今回は動画で残そうとする試みです。

立命館大学のボランティアグループの皆さんにお願いしており、すでに撮影が進んでいます。

2) WACプロジェクト

ワイワイあぼしクラブのイメージキャラクターを公募しようとする取り組みです。

応募できるのは湖南省在住または湖南省に通勤、通学先のある人で、年齢、性別は不問です。

応募要綱は発送済みです。未入手の方は本部事務局まで。

3) NPOの歌

校歌とか社歌に相当する、NPOの歌を作ろうとする企画です。

すでに原案的な曲は完成してしまっていて、演奏できるようアレンジ中です。

今現在このようなプロジェクトを進めています。10周年のどこかのイベントで発表しますのでご期待ください。

事務局 石路

小規模多機能型居宅介護事業「秋桜舎（こすもすや）」さんからのメッセージです。

初めの一步 ～石部東一丁目より～

6月下旬、秋桜舎としては初めての一泊旅行に出掛けました。といってもご利用者の都合もあり参加者は5人。ご利用者2人、スタッフ3人のこじんまりとしたものです。

ご高齢者との旅。無理せず県内でとなり、行き先は彦根、長浜方面。それでもご利用者は、わくわくとドキドキを行ったり来たりで当日を迎えられた様子でした。体調を崩す人もなく揃って出発。時期が梅雨だけにお天気には恵まれず、泊まる宿を目指し、あえて高速に乗らず景色を見ながら湖岸を北上。湖北出身のご利用者スタッフのガイドつきで、彦根、長浜、竹生島は車窓から眺め、奥びわこパークウェイまでドライブ。早めに宿に着き温泉につかり、おいしいものを食べて初日は終了しました。「この歳になってはじめてビール飲んだけど美味しかったなあ」とはご利用者のおひとりの言葉でした。

翌日、楽しみにしていた彦根城下は雨で歩けず残念でした。行きとは違う道を車を走らせ、雨天の時はここへ寄ると決めていた所『西堀榮三郎記念 探検の殿堂』でマイナス20℃体験。年齢制限の有無をたずねたら無いとの返事。防寒着は貸してもらえますが、車いすも凍りそうな寒さに耐えられず、ご利用者の具合が悪くなる前に一番に音を上げたのは私でした。ちなみに今年でこの施設は閉館になるそうです。

土産話と永源寺こんにやくをかばんに詰めて秋桜舎に戻ったら、行けて良かった、無事で良かったと参加されたご利用者が涙を流し喜んで下さいました。私も感動し計画して良かったと温かい気持ちになりました。

行きたい所は数々あれど・・・さて、次の一步はどんな旅にしましょうか。

秋桜舎 川本 幸代



グループホームわいわい ～ほっこり・にっこり～

わいわいが開所して7年半が過ぎました。

入居されているお年寄りのみな様も日々年を重ねていかれます。

前にできた事がしづらくなってきた…これは私にもある事です。

その生活のしづらい部分をお手伝いさせていただくのが私たちスタッフ役割だと思っています。

お年寄りのケアに携わっていると、「寄り添う」という言葉が出て

私が3年前にわいわいに寄せてもらった時に「寄り添う介護がしたとなんとなく口にしたのを覚えています。

3年経ち、「寄り添う」というのは単に傍でお話を聞くだけでなく、その人の思いや考えにのりしさを大切にしていこうと思うようになってきました。寄り添う事で“その人らしさされるのかもしれない”。

わいわいで撮った写真を眺めていました。以前、お箸を持って食べておられた方がスプーンでおられる。そのような変化はあるのですが、決して笑顔の表情まで変わったわけではないと。 「重度やし大変やな～、自分でしはる人少ないな～」との声もあります。もちろんそのよるのですが、一緒に歌を歌って楽しんだり、おいしいものを食べに行ったり、花を見て「きれい

と思ったり、たまには怒ったり…と見たり、聞いたり等々はスタッフも日々一緒に感じる事ができます。

同じ時間を過ごす事で“にっこり・ほっこり”の場と増えていくよう努めていきたいと思ひます。

今後とも、よろしくお願ひいたします。

(宮田 圭子)



～写真～ 6月5日「おいでやコンサート」に行きました



[NPOワイワイあぼしクラブ 関連事業所の住所・連絡先]

●**あったかほーむ いしべ宿（しゅく）**

〒520-3107 湖南省石部東七丁目5番9号

TEL/FAX 0748-77-6723

E-mail: npowai@ex.biwa.ne.jp



●**高齢者グループホーム わいわい**

〒520-3107 湖南省石部東七丁目5番25号

TEL/FAX 0748-77-5741

E-mail: waiwai@ex.biwa.ne.jp



●**知的障がい者グループホーム・ケアホーム すずらんホーム**

〒520-3108 湖南省石部南七丁目9番20号

TEL/FAX 0748-77-4274

E-mail: qpmx33521@nike.eonet.ne.jp



●**知的障がい者グループホーム・ケアホーム ホワイトハウス**

〒520-3108 湖南省石部南六丁目9番29号

TEL/FAX 0748-77-3130

E-mail: pskm67097@ares.eonet.ne.jp



●**知的障がい者グループホーム・ケアホーム さんさんハウス**

〒520-3108 湖南省石部南八丁目1番20-210号

TEL/FAX 0748-77-0630

E-mail: white@w-aboshi.com



●**知的障がい者グループホーム・ケアホーム 南花（さざんか）**

〒520-3108 湖南省石部南五丁目4番4号

TEL/FAX 0748-77-4791

E-mail: attaka@w-aboshi.com



●**知的障がい者グループホーム・ケアホーム 栗東ハイツ**

〒520-3015 栗東市林480番地

栗東ハイツA棟101号

TEL/FAX 077-553-0975



●**知的障がい者グループホーム・ケアホーム Myほーむ**

〒520-3108 湖南省石部南六丁目9番29号

TEL/FAX 0748-60-1157

E-mail: vpkv25205@ares.eonet.ne.jp



●**サポートセンター・本部事務局（ヴィラ向陽）**

〒520-3108 湖南省石部南八丁目1番20-110号

TEL/FAX 0748-69-7741

E-mail: SP wac-sprtc@w-aboshi.com 本部 info@w-aboshi.com



高齢者グループホーム「わいわい」と知的障がい者グループホーム・ケアホーム「ホワイトハウス」、「南花」では、給料を得ながらホームヘルパー2級の資格がとれる介護雇用プログラムで研修生を受け入れています。今後とも人材育成に努めていきたいと思っております。

〈編集後記〉

通信の表紙を飾ったステキな写真は、先日わいわいスタッフの結婚披露宴へお年寄りとともにお祝いに駆けつけた時のものです。幸せなお二人を見つめるお年寄りの表情もにこやかで、幸せをたくさん分けてもらいました。おめでとうございます!! (編集委員)

〈お願い〉

会員の皆さまへ。ひき続き、新規加入者（正会員・賛助会員）のご紹介および、今年度の会費の納入をよろしくお願いいたします。